

授業科目名： 国際地域学研究基礎			担当教員名： 中東友幸、ミラー枝里香
選択必修： 必修	単位数： 2	セメスター： 1 前 1 Spring	開講言語： 日本語
ディプロマポリシーとの関連：			
国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力	
●	●		
○授業の到達目標及びテーマ			
国際地域学の基礎についての学習および国際地域学で取り扱う領域を紛争解決、外交史、地域研究の3つの側面から検討し、受講生に国際地域学の概要を把握してもらう。			
○授業の概要			
1) 第1部：国際地域学（5回：中東友幸） 2) 第2部：紛争解決（5回：中東友幸） 3) 第3部：外交史・地域研究（5回：ミラー枝里香）			
○授業の方法 （第1部&第2部：1-10回）			
1) 受講生は指定された文献を読み、また授業での討議に積極的に参加することが求められる。 2) 受講生は、文献の内容についてプレゼンテーションが求められる。詳細は授業時に指示する。 3) 受講生は、課題レポートの作成が求められる。詳細は授業時に指示する。			
（第3部：11-15回）			
● ミラー担当回では、外交史および地域研究の知識を構築するとともに、質の良いレポートを書くスキルを獲得することを目的とする。 ● 第10回までにアンケートを行い、選択肢から外交史・地域研究に関するトピックを2つ選択してもらう。選択肢は下記「授業計画」に記載している。講師は11回までにアンケートを集計し、第11回、第12回にて多数決で選択されたトピックに関して講義を行う。第13回では、講義に基づきディスカッションを行う。それらにより外交史および地域研究に関する知識を構築する。 ● 第14回までに、学生はレポートの骨子を用意する。第14・15回でレポートの書き方を細かに指導する。			
○授業計画			
【第1-5回】（中東友幸） 猪口孝監修・山本吉宣・黒田俊朗編著『国際地域学の展開：国際社会・地域・国家を総合的にとらえる』（明石書店、2015年）をテキストとして使用する。			
第1回 講義：国際地域学について講義を行う。また、受講生は上記テキストの中から1章を選択し、第2回から5回の授業でプレゼンテーションを行う。			
第2回 選択したテーマについてテキストの内容の確認と討論①			

第3回

選択したテーマについてテキストの内容の確認と討論②

第4回

選択したテーマについてテキストの内容の確認と討論③

第5回

選択したテーマについてテキストの内容の確認と討論④

【第6-10回】（中東友幸）

上杉勇司・長谷川晋『紛争解決学入門：理論と実践をつなぐ分析視点と思考法』（大学教育出版、2016年）をテキストとして使用する。

第6回

映画視聴：『The Oslo Diaries』（監督 Mor Loushy and Daniel Sivan, 2018）

第7回

講義と討論：紛争解決学とは？

第8回

講義と討論：平和とは？

第9回

講義と討論：安全とは？

第10回

講義と討論：紛争とは？

【第11-15回】（ミラー枝里香）

講義の選択肢

- (1) 冷戦の起源
- (2) 代理戦争
- (3) 第三世界におけるナショナリズムの台頭
- (4) キューバ危機と米ソ対立の限界
- (5) デタント
- (6) 石油危機と中東戦争
- (7) 冷戦の崩壊
- (8) 湾岸戦争と冷戦後新国際秩序
- (9) テロとの戦争とイラク戦争
- (10) ロシア・ウクライナ戦争

第11回

講義

第12回

講義

第13回

ディスカッション

第14回

レポート指導

第 15 回

レポート指導

○テキスト

各週に提示（授業計画を参照）

○参考書・参考資料等

各週に提示（授業計画を参照）

○学生に対する評価

1) クラス討論への貢献: 30%

2) 課題レポート（日本語）：70%

○警戒レベル 3 以上の場合の授業形態について

授業形態：オンライン授業（リアルタイム配信型）

資料・連絡事項掲載場所：担当教員に確認